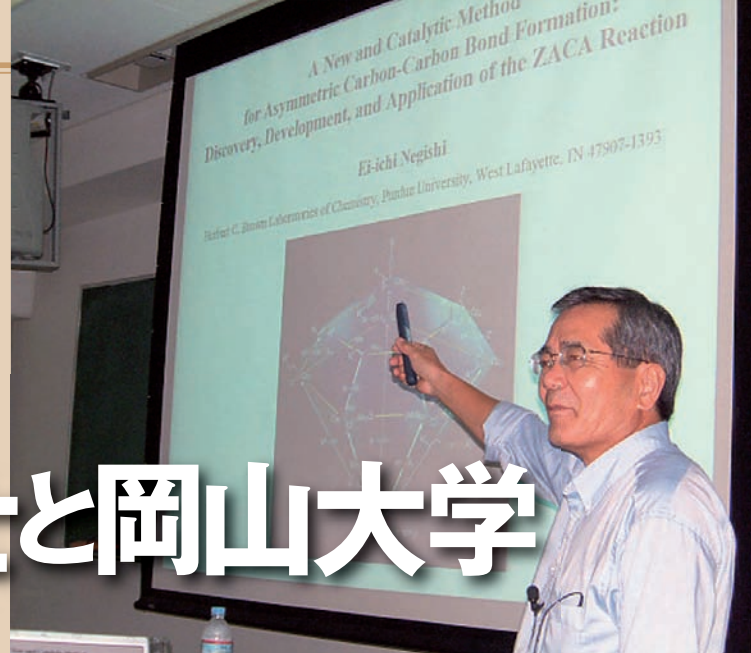


TOPICS!
岡大

ノーベル化学賞受賞 根岸英一博士と岡山大学 ～深まる絆



▲学生たちに講演する根岸博士（2005年7月）

2010年10月、製薬や電子産業など幅広い分野で使われる有機化合物の革新的合成手法「クロスカップリング反応」の開発で、ノーベル化学賞を受賞し、日本中を沸かせた米・パデュー大の根岸英一特別教授。本学は、半世紀近く米国で活躍する根岸博士が2005年から計4回訪れて講演を行っている、国内でも縁が深い大学です。

この講演は、学生時代から根岸博士と交流があり、2004年に着任した自然科学研究科の西原康師教授が「学生に本物の化学を学ばせたい」と依頼し実現しました。学会や企業の講演などで帰国する際に立ち寄ってもらい、最近の研究内容や気になっている化学の話題を話していただいています。西原先生によれば「岡山には根岸先生が米・シラキュース大にいた時の友人も多くおられ、『今度日本に行くけど、岡山にも行くかどうか?』と連絡をくださるほど、気に掛けてくださっている。根岸先生の講義を受けた学生はみんな先生を身近に感じており、受賞とともに喜んでいきます」とのことです。

こうした縁で、根岸博士は、本学が重点的に推進する、超伝導や有機半導体などを研究するプロジェクト

「エネルギー環境新素材拠点」の外
部評価委員に受賞前から内定して
いました。プロジェクトの目指すべき
方向性を、世界的視野からアドバイ
スしてもらおう予定です。

この新素材拠点の会議に合わせ、
根岸博士が3月、受賞後初めて本学
に來られます。23日には、「夢を持
ち続けよう!」と題して特別講演会
を開催。世界的科学者の話を広く地
域の皆様にも聞いていただき、岡山の
科学界にも大きな刺激になると思わ
れます。

また、ノーベル化学賞や文化勲章
など数多くの受賞にいたった素晴ら
しい業績や、本学の教育研究への寄
与に敬意を表し、本学初の「名誉博



▲備前市を訪れ、備前焼作りを体験する根岸博士夫妻（2005年7月）

士」を授与することも決まりました。
ノーベル賞受賞後、根岸博士は「科
学技術発展への使命感を強くしてお
られ、中高生に化学の面白さを伝え
る活動や、人工光合成など二酸化炭
素を有効な炭素源と考えて活用する
研究に力を入れておられます」と西
原教授。今後毎年1回の来学を約束
してくださっているそうで、学生や
研究者と一層の交流を深めていただ
き、本学の教育研究がさらに発展す
ることを確信しています。



▲学生たちとの記念写真に収まる根岸博士（2010年6月）